

日中友好新聞

府連通信

2008年4月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: jcfa@jt8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

物哀しく清んだ美しいあの音、

忘れられず、二胡教室に

二胡との出会いは洞爺湖のホテルでした。

物哀しく清んだ美しいあの音、忘れられず退職後、通信教育で二胡を始めました。筆記試験の提出は予定通り出来たのに、曲をテープに入れて提出する課題の垣根、越えられず二年余が過ぎようとしていた時、大阪府連主催の「中国音楽の夕べ」の企画に、二胡の好きな友人二人さ

そつて参加、あの時の感動、今もはつきり覚えています。

どの曲にも中国の歴史あり、物語あり、風景が出てきて、情感こめて弾けるよう詳しく説明が入るので、増々中国が好きになり、日中の文化活動の意義の大きさに改めて感謝感激しております。

弾きたいと考えています。上京してでも二胡を連の役員さんに紹介をお願い致しました。その人が今の朱啓高老師だったのです。中国の音楽を希望して教えて



中国の音楽・楽器に感心のある方、府連の二胡教室を見学して下さい、お待ちしております。

二胡受講生

・栗山俊子

支部の再建と結成 五百名の拡大を

三月に開かれた各地のブロック会議では、愛知県で開催される第五七回全国大会にむけ、組織の強化と、会員・準会員五百名拡大のための活動に、全力をあげることを確認しました。

関西ブロックでも組織拡大の討論が熱心にされました。

会員・準会員を拡大するには活発な支部活動と楽しい文化活動、さらに、新しい支部の結成・再建が重要であることが確認されました。

そして、各府県連の自主的な拡大目標を決めました。

貴州省の少数民族の苗村を訪ねて

中国の西南部、貴州省を三月二十二〜二十七日訪問しました。西に進むと、道の両側の閑空から省都貴陽市まで約七時間の旅でした。早朝二十二階開墾された畑や棚田が重なり合い、「菜の花」が咲き乱れ、黄境に溶け込んだ女性的な色のじゅうたんの中を美しくもかし出して



弱で白く幾重にも重なり流れ落ちる様子は、気持ちとを和ませてくれます。アジア最大の滝として中国が観光に力を入れているようです。又、

と、朝靄の中に超高層ビルが林立しており、ここは上海かと錯覚するほどでした。日中は大気汚染で青空が見る事はありません。



初めの観光地「黄果树」は中国が世界自然遺産に申請している観光地で、落差七十七m幅百m自然のオゾン



（片山英徳理事長・記、渡辺武会長、藤後博己副会長、中根欣之助常任理事など三六名のツアーに参加しての投稿記事の前編です。）

第88期中国語講座・開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています。初級から上級まで27クラスが、1日から開講中です。

（週一回・二時間・6ヶ月20回受講）

受講料・39,000円 二科目受講58,500円

入学金・15,000円、会員・学生割引があります。

授業の見学は無料で、二科目までならOKです。

プライベートレッスンも随時受付中です。

4月開講・中国語講座 新入生ご紹介キャンペーン

お知り合いの方に、中国語講座の受講をお勧め下さい。新入生をご紹介（入学）頂いた方には、一人あたり3000円の図書カードを進呈します。

日中大阪府連合会事務局までお知らせ下さい。

TEL: 06-6372-8131 jcfa@jt8.so-net.ne.jp

セミヨーノフ事件と中野正剛

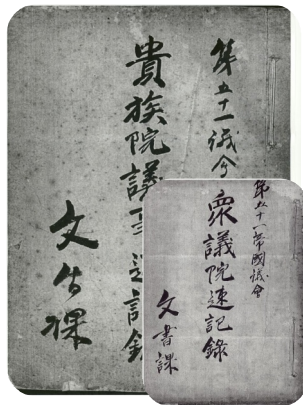
明日香村 廣田仁吉（八十一歳）

『第五十一帝国議会・衆議院速記録』と、『第五十一議会・貴族院議事速記録』が私の資料のなかにある。第五十一帝国議会は、大正十四年十二月二十六日から翌十五年三月二六日まで開会された。この速記録は大正時代最後の国会議事録と云うことになる。

前年の第五十帝国議会では、「治安維持法」が国会を通過した。終戦の年十月まで二十余年にわたって日本共産党や労働組合、民主団体の組織を破壊するための強力な武器となった。

しかし、治安維持法も全く無

抵抗で国会を通過したわけでは、ない。一部マスコミ、知識人、文化人、労働組合、大衆団体も批判の論陣を張り、抗議行動を行った。議会でも会派を問わず、中野正剛、清瀬一郎、星島二郎、有馬頼寧、安藤正純、徳川義親らが反対または疑問点を質した。中野正剛は第五十一議会でも、



田中義一陸相がロシヤ革命に干渉、シベリヤ出兵を強行し、八億円と云われる軍費のうち四千万円を機密費として渡したことや、「セミヨーノフの金塊」と田中との関係を追求めた。この発言は、『第五十一帝国議会衆議院速記録』に記されている。赤旗日曜版1977年九月十一日号には「セミヨーノフ事件」が二面にわたって解説されている。セミヨーノフは帝政ロシヤの陸軍大尉だったが、「將軍」を自称、九トンもの金塊をロシヤ革命のどさくさにまぎれて持ちだし、百四十三個の木箱に分散し、そのうち八十箱を満州のハルビンから貨車に積み込み、朝鮮銀行大連支店に移送、日本

陸軍の手に渡したというものである。

中野の質問に対して、与党の志賀議員は「中野君ソレ自身ガ今日天下ノ疑惑ノ中心トナツテ居ルガ如ク、露西亜ヨリ十万円ノ金ヲ貰ツテ露西亜ノ為ニ赤化宣伝ヲシテ居ルト云フ疑惑ノ中心点ニナツテ居ル」と問題点をはぐらかし中野を攻撃した。

政界の最右翼、「東方会」の会長であった中野正剛は東条英機とソリが合わなかった。太平洋戦争勃発の二年前、政党・政治のほとんどが大政翼賛会に合流していく中で東方会を解散、議員を辞職、自死して果てた。

（明日香村会議員・観光ボランティアガイドの廣田仁吉さんからの投稿です）

悲劇の従軍写真家「沙飛の日中戦争」

八月に大阪で写真展を開催

従軍写真家・沙飛（さひ）の名を知る人は決して多くはないだろう。魯迅の影響を強く受け、その臨終に立ち会い撮影した魯迅のデスマスクの写真が、その後の沙飛の運命を決めた。

抗日戦争下の前線で、後方で、沙飛はシャッターを押し続けた。万里の長城での戦闘、中国軍の捕虜となり反戦活動に身を投じ

る日本兵たち、救出された日本人少女と八路軍の司令官、中国人の戦傷者や病人を治療するカナダ人医師、中国共産党代表と国民党代表が米国特使とともに談笑する写真など、沙飛が残したフィルムには、日中戦争と中国革命の歴史的な場面が刻まれている。中国写真界の草分け的存在で

あり、数多くの写真家を育てた沙飛。1949年12月、不幸にも、新中国建設に貢献した日本人の津沢勝医師を入院先の病院で射殺し、死刑に処せられてから三六年后、精神病による事件であったことが証明され、沙飛の名誉回復が実現する。

激動の時代を生き、悲劇の生涯を閉じた従軍写真家・沙飛。彼がレンズを通して目にした歴史がいまよみがえる。

日中平和友好条約締結三十周年記念「沙飛写真展」が四月の



八路軍に救出された梅美穂子さん



日本軍捕虜に寛大政策を語る八路軍幹部

東京を皮切りに、全国を巡回し、大阪では八月に日中文化センターで展示します。

文豪・魯迅

第31回全大阪きりえ美術展

大阪と関西の、きりえサークル会員

・愛好家・作家の近作を展示します。

5月23日(水)～28日(金)

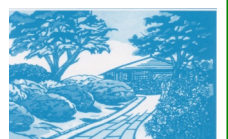
入場無料

午前10時～午後6時(28日は5時まで)

エル・おおさか9階ギャラリー(府立労働センター)

主催：全大阪きりえ連絡会

後援：大阪府・大阪市



梅丈岳・堀川誠子

太極拳教室案内

府連教室 開講中

なんば府立体育館など

月曜日午後六時三〇分から

西支部教室 開講中

北スポーツ・東梅田学習センター

木曜日午後六時三〇分から

守口支部教室 火・水・金

守口第一中学校他に

守口東部教室・東部公民館

土曜日・午後一時から

富田林教室 開講中

市民総合体育館(剣道場)

水曜日午後六時四五分

詳細は府連事務局まで